

お知らせ



シトロエン C5 AIRCROSS / C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRID において、仕様の変更により取扱説明書の本文の記載と異なる部分がありますので、以下のように追記させていただきます。

目次

C5 AIRCROSS / C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRID 共通

○シートヒーターについて	Page 2
○ドアの鍵穴について	Page 2
○コーナリングライトについて	Page 3
○USBポートについて	Page 4
○電球の交換について	Page 4

C5 AIRCROSSのみ

○ハンズフリーエレクトリックテールゲートについて	Page 5
○ステアリングロックについて	Page 6
○エフィシエント・オートマチック・ トランスミッションについて	Page 6
○ドライブモードについて	Page 13
○ヒルスタートアシスタンスについて	Page 14
○グリップコントロールについて	Page 15

OSCR (選択式還元触媒) システム

(ディーゼル車) について	Page 16
○ブラインドスポットモニターについて	Page 17
○アクティブセーフティブレーキについて	Page 17
○インストルメントパネルについて	Page 18
○パンク修理キットについて	Page 21
○AdBlue®について	Page 26

C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRIDのみ

○フュエルリッド (給油口) について	Page 27
○エフィシエント・オートマチック・ トランスミッションについて	Page 27
○プラグインハイブリッドシステムについて	Page 33
○充電中のエアコンの使用について	裏表紙

- シートヒーターについて
(C5 AIRCROSS／C5 AIRCROSS PLUG-IN
HYBRID共通)
(C5 AIRCROSS: 第1章 1-6ページ
「シートヒーター」／
C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRID:
第1章 1-5ページ「シートヒーター」)

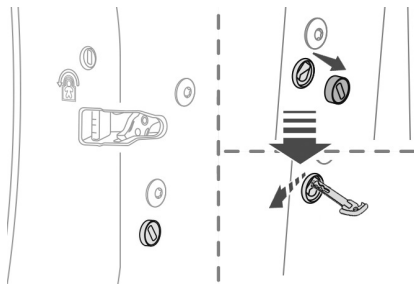
- シートヒーター*

シートヒーターは外気温が 20℃以下のときに作動します。

- ドアの鍵穴について
(C5 AIRCROSS／C5 AIRCROSS PLUG-IN
HYBRID共通)
(C5 AIRCROSS: 第2章 2-8ページ「リモコンの
初期化」、2-11ページ「緊急用キー」、
2-12ページ「マニュアルロック (非常時)」／
C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRID:
第2章 2-9ページ「リモコンの初期化」、
2-13ページ「緊急用キー」、
「マニュアルロック (非常時)」)

運転席ドアの鍵穴が廃止されました。ドアの鍵穴は、助手席ドアに装備されています。スマートキーの電池がないときなどは、助手席ドアの鍵穴に緊急用キーを差し込んで車両を施錠／解錠できます。12V バッテリーが上がっているときや、12V バッテリーの接続をはずしているときなどで、集中ドアロックが作動しない場合、次の方法で運転席ドアを施錠することができます。

* 仕様により異なります。



1. 緊急用キーを使って、ドア端部にある穴から黒いゴムキャップをはずします。
2. 緊急用キーを穴に差し込み、内側に動かしてドアをロックします。（緊急用キーは回さないでください。）
3. 緊急用キーをはずし、ゴムキャップを元に戻してからドアを閉めます。

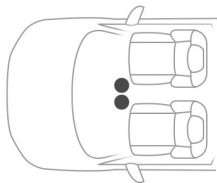


ドアを閉める前に必ずキャップを元に戻してください。

- コーナリングライトについて
(C5 AIRCROSS／C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRID共通)
(C5 AIRCROSS: 第4章 4-32ページ「コーナリングライト」、第5章 5-12ページ「設定項目一覧」／C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRID: 第4章 4-36ページ「コーナリングライト」、第5章 5-13ページ「設定項目一覧」)

コーナリングライトは廃止されました。

- USBポートについて
(C5 AIRCROSS／C5 AIRCROSS PLUG-IN
HYBRID共通)
(C5 AIRCROSS: 第5章 5-23ページ
「USBポート」／
C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRID:
第5章 5-27ページ「USBポート」)

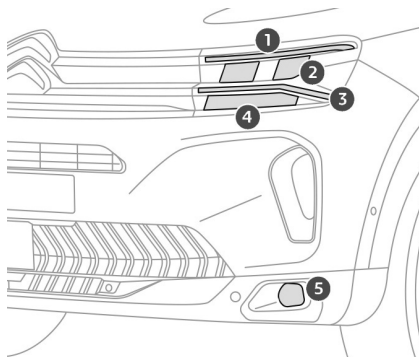


フロントコンソールには USB ポートが2つ装備されています。一方は接続したデバイスに保存された音楽を車両スピーカーで楽しむことができたり、Apple CarPlay／Android Autoに対応したスマートフォンを接続することで、スマートフォンアプリをタッチスクリーンに表示することができます。もう一方は充電専用です。

- 電球の交換について
(C5 AIRCROSS／C5 AIRCROSS PLUG-IN
HYBRID共通)
(C5 AIRCROSS: 第6章 6-6ページ「電球の交換」
／C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRID:
第6章 6-11ページ「電球の交換」)

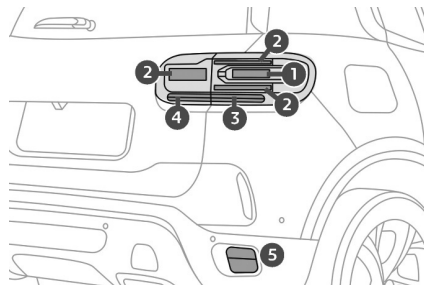
ヘッドランプ／テールランプの仕様が変更されました。

ヘッドランプ (変更後)



- ① : デイタイムランニングランプ／ポジションランプ／方向指示器 (LED)
② : ロービームヘッドランプ (LED)
③ : デイタイムランニングランプ／ポジションランプ (LED)
④ : ハイビームヘッドランプ (LED)
⑤ : フロントフォグランプ (LED)

テールランプ (変更後)



- ① : ストップランプ (LED)
- ② : ポジションランプ (LED)
- ③ : 方向指示器 (WY16 W)
- ④ : リバースランプ (W16 W)
- ⑤ : リアフォグランプ (P21 W)

⚠ 警告

- LED ランプに触らないでください。感電し重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。
- 点灯中のLED ランプを至近距離から直視しないでください。LED ランプは強い光を照射するため、失明などの重大な傷害につながるおそれがあります。



- ヘッドランプ／テールランプ類の交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。
- ルームランプ／マップランプ／ラゲッジルームランプなどの交換はシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。

- ハンズフリーエレクトリックテールゲートについて
(C5 AIRCROSSのみ)
(第2章 2-22ページ「テールゲートを開ける」、
2-23ページ「テールゲートを閉じる」、
「ドアおよびテールゲートの自動施錠」)

- テールゲートを開ける／●テールゲートを閉じる
運転席側ダッシュボードにあるボタン D は廃止されました。

ドアおよびテールゲートの自動施錠

ハンズフリー機能を使用してテールゲートを閉じたあとに、ドアおよびテールゲートが自動施錠される機能をオン／オフするための、テールゲート内側にあるボタンが廃止されました。この機能は、ダッシュボードのアイコン 、車両設定、コンフォート、ハンズフリー ロックの順にタッチするとオン／オフできます。

- ステアリングロックについて
(C5 AIRCROSSのみ)
(第3章 3-3ページ「エンジンの停止」、
3-4ページ「エンジンの緊急停止」)

●エンジンの停止

ガソリン車は、ステアリングロックが廃止されました。エンジンを停止すると、シフトポジションがPでロックされます。

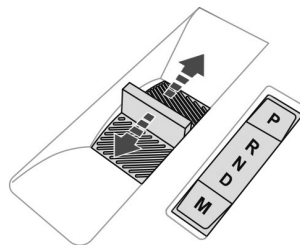
●エンジンの緊急停止

ガソリン車は、ステアリングロックが廃止されました。エンジンを緊急停止したあと、車両が停止してもステアリングはロックされません。

- エフィシエント・オートマチック・トランスミッションについて
(C5 AIRCROSSのみ)
(第3章 3-5「エフィシエント・オートマチック・トランスミッション」)

エフィシエント・オートマチック・トランスミッション

●プッシュセクター／シフトポジション



プッシュセクターを前後に動かす、またはプッシュセクターの右側にあるスイッチを押してシフトポジションを選択します。選択されているシフトポジションは、インストルメントパネルおよびプッシュセクターの右側にあるインジケーターに表示されます。**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてもしばらくの間、インジケーターにシフトポジションが表示されます。

P. パーキング：前輪がロックされた状態になります。駐車するとき、またはエンジンを始動するときに使用します。パーキングブレーキを併用してください。

- ・ **P** にシフトするときは、スイッチ **P** を押します。
- ・ エンジンを停止すると、シフトポジションが自動的に **P** になります。

R. リバース：後退します。

エンジンがアイドル状態、車が停止しているときにシフトしてください。

- ・ **P** から **R** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセクターを強く押します。
- ・ **N** から **R** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセクターを押します。
- ・ **D** から **R** にシフトするときは、プッシュセクターを強く押します。ブレーキペダルを踏んだ状態で操作してください。

N. ニュートラル：動力が伝わらない状態です。エンジンを始動するときに使用します。パーキングブレーキを併用してください。

- ・ **P** から **N** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセクターを押すか引きします。
- ・ **D** から **N** にシフトするときは、プッシュセクターを押します。
- ・ **R** から **N** にシフトするときは、プッシュセクターを引きします。

D. ドライブ：走行に応じて自動的にギアが切り替わります。

- ・ **P** から **D** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセクターを強く引きします。
- ・ **N** から **D** にシフトするときは、プッシュセクターを引きします。時速 5km 以下のときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセクターを引きします。
- ・ **R** から **D** にシフトするときは、プッシュセクターを強く引きします。ブレーキペダルを踏んだ状態で操作してください。

M. マニュアルシフトポジション：パドルスイッチを使って手動でギアを切り替えます。アクセルペダルを踏み込んだまま操作することができます。

- ・ **M** にシフトするときは、**D** にシフトしてからスイッチ **M** を押してください。
- ・ **M** から **D** にシフトするときは、プッシュセクターを押すか、スイッチ **M** を押します。

警告

停止中または極定速（時速 5km 以下）で走行中に運転席ドアを開けると、シフトポジションが自動的に **P** になります。特に、極定速で走行中にシフトポジションが **P** になると、車が急停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションなどを破損するおそれがあります。極定速で走行中に運転席ドアを開かないでください。

注 意

R や **D** にシフトするときは、エンジン回転がアイドリングまで下がっていることを確認してください。



- マニュアルモードのシフト操作は、エンジン回転と走行速度の許容範囲内でのみ行うことができます。その範囲を超えるときは、一時的にオートマチックモードになります。
- ブッシュセレクターは操作後に手を放すと元の位置に戻ります。

●パドルスイッチ



ステアリングの裏側にパドルスイッチがあります。シフトポジションが **D** または **M** のとき、右側 (+) のスイッチでシフトアップ、左側 (-) のスイッチでシフトダウンします。



- シフトポジションが **D** のとき、パドルスイッチでのギアの切り替えは一時的な操作です。シフト操作後は、走行に応じて自動的にギアが切り替わります。
- パドルスイッチを使って、シフトポジションを **N** または **R** に切り替えることはできません。また、**R** から他のポジションに切り替えることもできません。

* 仕様により異なります。

●シフトタイミングインジケーター*



マニュアルモードで走行中、燃費向上のためにシフトチェンジを促して燃費向上のアドバイスをします。

アクセルペダルを軽く踏んで運転している状況で、システムが燃費向上の観点から現在のギアよりも 1 段または 2 段高いギアを使用した方が良いと判断した場合、インストルメントパネルに矢印のマークと推奨ギアが表示されます。



- シフトタイミングインジケーターの機能をオフにすることはできません。
- 追い越しをするときなどアクセルペダルを強く踏み込んだときは表示されません。
- シフトタイミングインジケーターは、以下の変速は促しません。
 - ・1 速への変速
 - ・リバースギアへの変速

⚠ 警告

シフトタイミングインジケーターはあくまで燃費向上のための機能です。実際のギアシフトは運転者が周囲の交通量や安全性に応じて判断して行ってください。誤った変速は事故につながるおそれがあります。

●クリープ現象

停車中にシフトポジションを **D**、**R** または **M** にすると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。

特にエンジン始動直後やエアコン作動時などエンジン回転が高いときには車が動こうとする力が強くなります。そのため、お子さまが乗車しているときは、エンジンが始動している状態のままでお子さまだけを残して車を離れないでください。

点検のためにエンジンが始動している状態のままで車外に出るときは、パーキングブレーキをかけてシフトポジションを **P** にしてください。

●キックダウン

追い越しなどで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込んでください。

シフトダウンが起こり、エンジン回転が最高に達するまでそのギアを維持し、より短い時間で加速することができます。

ある一定の速度に達すると、自動的にシフトアップします。安全のため、急にアクセルペダルを離してもシフトアップはしません。

●エンジンブレーキ

長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、**D** レンジでもより効果的にエンジンブレーキを効かせるため自動的に低いギアに切り替わりますが、状況に応じて随時、シフトポジションを **M** レンジにして低いギアを選択することができます。(たとえば **D** → **3**、**3** → **2**)

ただし、**2** から **1** への切り替えは急激な減速を伴いますので、滑りやすい道路条件（雪道や凍った道路）では十分にご注意ください。

●シフトロック

急発進防止のため、ブレーキペダルを踏んでいないと **P** から他のシフトポジションにすることはできません。



警告音とともにこのアイコンとメッセージが表示されたら、ブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを変更してください。

●シフトポジション **N** でエンジンを停止する

シフトポジションが **N** の状態でエンジンを停止するには、以下の操作を行います。この状態は 15 分間保持されます。15 分経過後はシフトポジションが自動的に **P** になります（または前輪がロックされます）。

1. 停車し、エンジンが始動している状態でブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを **N** にします。
2. ブレーキペダルを踏んだまま **ENGINE START/STOP** スイッチを約 1 秒間押し続けます（エンジンが停止します）。
3. 約 5 秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままプッシュセクターを 1 回押すか引きます。チャイムが鳴り、プッシュセクターの右側にあるインジケーターの **P** が点滅します。
4. ブレーキペダルを放します。
5. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリーポジションにします。
6. ブレーキペダルを踏みながらエレクトリックパーキングブレーキを解除します。
7. ブレーキペダルを放します。
8. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。

⚠ 警告

シフトポジションが **N** の状態でエンジンを停止中は、車から離れないでください。



- 操作が正常に完了すると、チャイムが鳴り、プッシュセレクトの右側にあるインジケーターの **P** が点滅します。また、シフトポジションが自動的に **P** になるまでの（または前輪がロックされるまでの）残り時間をお知らせするメッセージが表示され、1 分経過する毎にチャイムが鳴ります。
- ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにしたり、アクセサリポジションからオフにしたりしても、シフトポジションが **N** の状態とエレクトリックパーキングブレーキが解除された状態が保持されます。
- 15 分経過後はシフトポジションが自動的に **P** になりますが（または前輪がロックされますが）、エレクトリックパーキングブレーキは解除された状態のまま保持されます。手動でエレクトリックパーキングブレーキをかけてください。
- ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにすると、またはアクセサリポジションからオフにするときはブレーキペダルを放した状態で操作してください。ブレーキペダルを踏んだまま操作するとエンジンが始動するため、手順を最初からやり直してください。
- 次回エンジンを停止するときはシフトポジションが自動的に **P** になります。
- 車両がエコノミーモードに入ると、シフトポジションが自動的に **P** になります（または前輪がロックされます）。

●トランスミッションの異常



警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、システムはセーフモードに入り **3**（3 速）に固定されて走行します。

セーフモードでは、マニュアルシフトポジションへの切り替えやパドルスイッチを使ってシフトチェンジすることができなくなります。

シフトポジションを **R** にしたときに、大きなショックを伴うことがあります。トランスミッションを損傷することはありません。時速 100km 以下の速度で走行して、シトロエン指定サービス工場にて点検を受けてください。

●プッシュセレクトの異常



警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、プッシュセレクトに異常があります。このとき、インストルメントパネルにシフトポジションが表示されているのに、プッシュセレクトの横にあるインジケーターにシフトポジションが表示されなくなることがあります。

シトロエン指定サービス工場にて点検を受けてください。



また、STOP 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示された場合は、重大な不良が発生しているおそれがあります。直ちに車を安全な場所に停止させ、エンジンを停止し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

警告

- 走行中は、シフトポジションを **N** にしないでください。エンジンブレーキが効かなくなり、ブレーキのフェード現象が起きやすくなり事故を起こすおそれがあります。
- 長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、ブレーキペダルとエンジンブレーキを併用してください。ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車から離れるときは、シフトポジションを **P** にして、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。クリープ現象で車がひとりでに動いて、人や物に衝突するおそれがあります。
- エンジンが始動している状態のときは、お子さまを車内に残して車を離れないでください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
- エンジンを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
- シフトポジションを **R** や **D** にするときは、停止した状態で、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら行ってください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

注意

- 車が完全に停止する前にシフトポジションを **P**、**R**、**D** にしないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。
- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。アクセルペダルおよびブレーキペダルは右足で踏んでください。

- ドライブモードについて
(C5 AIRCROSSのみ)
(第3章 3-11「ドライブモード」)

ドライブモード



走行状況に応じて、センターコンソールにあるボタンを押してドライブモードを選択することができます。

●ドライブモードの選択

DRIVE MODE ボタンを数回押して、Sport (スポーツ)、Normal、または Eco (エコモード) を選択します。選択するドライブモードはインストルメントパネルに表示されます。



- エンジンを始動する度に自動的に **Normal** が選択されます。
- Normal** が選択されている場合を除き、選択されているモードがインストルメントパネルに常に表示されます。

● ドライブモードの種類

Sport (スポーツ)

アクセルレスポンス、パワーステアリング、トランスミッションを制御してよりスポーティな走りを実現するモードです。

Normal

通常の走行に適しているモードです。

Eco (エコモード)

エアコンはオフにせず、暖房／冷房の作動を抑えることで、燃費を向上させる走行に適しているモードです。



Normal または **Eco (エコモード)** を選択中は、シフトポジションが **D** で走行中にアクセルペダルをゆるやかに放すと、トランスミッションとエンジンの接続を自動的に切り離してエンジンブレーキを解除し、燃料消費量を減少させます。このとき、エンジン回転数が落ち、タコメーターがアイドリング状態を示したり、エンジン音が抑制されたりしますが、異常ではありません。

○ ヒルスタートアシスタンスについて (C5 AIRCROSSのみ)

(第3章 3-15ページ「ヒルスタートアシスタンスの故障」)

● ヒルスタートアシスタンスの故障

ヒルスタートアシスタンスに異常が発生したときは、次の警告灯が点灯するとともにメッセージが表示されます。

AUTO P OFF の警告灯は点灯しません。



- グリップコントロールについて
(C5 AIRCROSSのみ)
(第3章 3-16「グリップコントロール」)

グリップコントロール



グリップコントロールは、駆動輪（前輪）へのトルクを制御して車両の安定性を高める装置です。雪上、泥地、砂地などの滑りやすい路面の走行時に、それぞれの路面状況に応じて、**Sand（サンド）**、**Mud（マッド）**、または**Snow（スノー）**から走行モードを選択することによって最適な効果を発揮します。

● Sand（サンド）

左右の駆動輪を適切に制御して、車両が砂に埋もれることを防止しながら走行させるモードです。

時速 120km 以下で走行中に作動します。

注意

砂地では他のモードを選択しないでください。

● Mud（マッド）

左右の駆動輪を制御して、タイヤに付着した泥を取り除き、泥地からの発進時のグリップを改善するモードです。

時速 50km 以下で走行中に作動します。

● Snow（スノー）

雪道や凍結路など、発進、加速時に駆動輪が滑りやすい路面状況に対応したモードです。登り坂での雪道や凍結路でも、タイヤのスリップを抑えたスムーズな走行を補助します。

時速 80km 以下で走行中に作動します。

警告

Snow（スノー）は、あらゆる雪道や凍結路での走行を可能にするものではありません。道路の規制や地域の気象条件に合わせて、適切なスノーチェーンやスタッドレスタイヤを装着し、急カーブや滑りやすい路面では慎重に運転してください。

●グリップコントロールの作動

路面の状況に応じて、センターコンソールにある **DRIVE MODE** ボタンを押し、**Sand**（サンド）、**Mud**（マッド）、または **Snow**（スノー）を選択します。

選択するモードはインストルメントパネルに表示されます。



選択されているモードはインストルメントパネルに常に表示されます。

●グリップコントロールの解除

センターコンソールにある **DRIVE MODE** ボタンを押し、**Sand**（サンド）、**Mud**（マッド）、または **Snow**（スノー）以外のモードを選択すると、グリップコントロールは解除されます。

選択するモードはインストルメントパネルに表示されます。



エンジンを始動する度に自動的に **Normal** が選択され、グリップコントロールは解除されます。

⚠ 警告

- グリップコントロールは、基本的に舗装道路での走行を想定しています。障害物や飛び石などによってボディ下部にある装置（サスペンションやマフラーなど）を損傷させるようなオフロードや、急勾配かつ滑りやすい悪路、渡河などを可能にする装置ではありません。
- グリップコントロールは、正しい仕様のタイヤを装着しているときに有効です。

- SCR（選択式還元触媒）システム（ディーゼル車）について
（C5 AIRCROSSのみ）
（第3章 3-20ページ「走行可能距離の表示」、
3-21ページ「SCRシステムの異常」）

AdBlue® 残量警告、SCR システム異常警告が発せられても、以下の **SERVICE** 警告灯は点灯しない場合があります。



- ブラインドスポットモニターについて
(C5 AIRCROSSのみ)
(第3章 3-30ページ「アクティブブラインドスポットモニター」、3-34ページ「レーンキープアシスト」、3-81ページ「パークアシスト」、第5章 5-14ページ「設定項目一覧」)

この車両にはブラインドスポットモニターが標準装備されています。ブラインドスポットモニターには、ハンドル操作を自動修正するアクティブブラインドスポットモニターの機能が装備されていません。この点を除いては、ブラインドスポットモニターとアクティブブラインドスポットモニターの機能に違いはありません。

- アクティブセーフティブレーキについて
(C5 AIRCROSSのみ)
(第3章 3-41ページ「動作条件」、3-43ページ「警告時間の設定」)

● 動作条件

運転席シートベルトおよび助手席シートベルトが着用されていないときは、次の警告灯が点灯する場合があります。このとき、アクティブセーフティブレーキは解除状態です。シートベルトを着用するとシステムは作動状態になります。



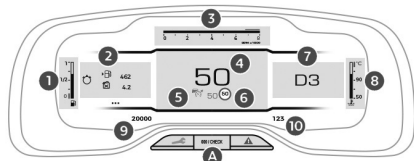
警告時間の設定

ディスタンスアラートが警告を開始する時間の 3 種類の設定項目は、次のようにタッチスクリーンに表示されます。

- ・ 長い
- ・ ノーマル
- ・ 短い

- インストルメントパネルについて
(C5 AIRCROSSのみ)
(第4章 4-2「インストルメントパネル」)

インストルメントパネル



インストルメントパネルの表示は、選択した表示モードにより異なります。

1. 燃料計
2. ドライブコンピューター
3. タコメーター
4. デジタルスピードメーター
5. アクティブクルーズコントロール/スピードリミッター表示
6. トラフィックサインインフォメーション表示
7. シフトポジション/シフトタイミングインジケーター* /ドライブモード
8. 冷却水温度計
9. オドメーター
10. トリップメーター

A. マニュアルチェックボタン/リセットボタン

警告

- スピードメーターの速度の単位は必ず km/h 表示を使用してください。誤って mph 表示（マイル）にすると、正確な速度を認識できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 安全上の理由から、インストルメントパネルの設定などの操作は、車両を停止し、エンジンが始動している状態で実施してください。

●インストルメントパネルの表示

以下は、どの表示モードの場合でも常にインストルメントパネルに表示される項目です。

- ・デジタルスピードメーター
- ・タコメーター
- ・シフトポジション/シフトタイミングインジケーター*
- ・オドメーター
- ・トリップメーター
- ・警告灯、表示灯、警告メッセージなど（表示がある場合）



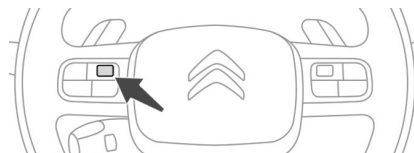
警告灯および表示灯は、状況により点灯位置が異なる場合があります。

* 仕様により異なります。

以下は、表示モードの種類や作動している機能がある場合に表示されます。

- ・燃料計
- ・冷却水温度計
- ・アクティブクルーズコントロール／スピードリミッター／トラフィックサインインフォメーション表示
- ・トリップコンピューター
- ・エンジン温度
- ・アクティブクルーズコントロールなどの運転支援システムの表示
- ・現在再生中のメディア

● 表示モードの設定



ステアリングスイッチのダイヤルを回すとインストルメントパネルの表示モードが切り替わります。

ダイヤルを押し込むとすぐに表示モードが切り替わります。



システムのバージョンによって、設定できる項目や表示内容が異なります。

●表示モードの種類

表示モードは、以下の4種類から選択して表示することができます。

- ・ダイヤル
- ・ドライブ
- ・パーソナル
- ・最少

ダイヤル

標準的なインストルメントパネルの表示モードです。デジタルスピードメーター、タコメーター、シフトポジション／ドライブモード、ドライブコンピューター、冷却水温度計、燃料計、オドメーター、トリップメーターなどが表示されます。

ドライブ

標準的なインストルメントパネルの表示に加え、アクティブクルーズコントロールなどの運転支援システムが表示されます。

パーソナル

標準的なインストルメントパネルの表示に加え（ドライブコンピューターを除く）、お好みに合わせて表示項目を選択することができます。

パーソナルの表示は、以下のタッチスクリーンの操作で設定します。

1.  タッチスクリーンの画面上部にあるアイコンにタッチします。
2.  にタッチします。
3.  にタッチします。
4. $\wedge$ または $\vee$ にタッチして表示したい項目を選択します。

最少

デジタルスピードメーター、タコメーター、シフトポジション／ドライブモード、オドメーター、トリップメーターなどの最小限の項目が表示されます。

●言語の設定

インストルメントパネルとタッチスクリーンの言語を切り替えるには、タッチスクリーンで設定します。



初期設定は日本語になっています。

●カラーの設定

インストルメントパネルの色を変更することができます。色の選択は、タッチスクリーンで設定します。

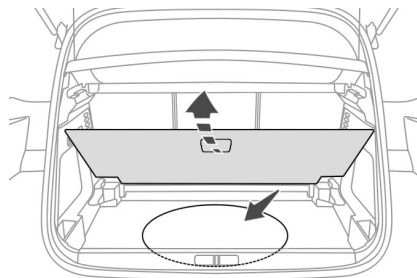


インストルメントパネルの色の設定は、タッチスクリーンの色の設定と連動しています。

- パンク修理キットについて
(C5 AIRCROSSのみ)
(第7章 7-7「パンク修理キット」)

パンク修理キット

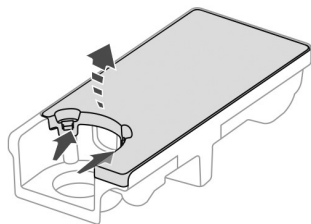
●パンク修理キットの場所



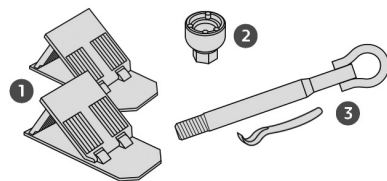
パンク修理キットと工具は、2 ポジションラゲッジフロアボードの下に格納されています。

1. 2 ポジションラゲッジフロアボードを高い位置にしてから持ち上げます。

2. タブを引いてカバーを開きます。



●パンク修理キットと工具



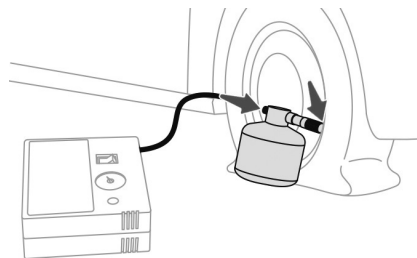
- ①：輪止め*
- ②：ホイールレンチアダプター（盗難防止ボルト用）*
- ③：けん引ボルト／カバーオープナー*
- ④：パンク修理キット

* 仕様により異なります。



- ホイールレンチアダプター②はグローブボックスの中に入っていることがあります。
- パンク修理キットはシトロエン販売店でお買い求めいただけます。
- タイヤのトレッド部以外の損傷によるパンクは、パンク修理キットを使用して修理することができません。
- タイヤに刺さった釘などは抜かずにそのまま応急修理をしてください。
- 修理キットを使用するときは、すべての手順を行ってください。

●使いかた



1. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。
2. 修理剤カートリッジに貼り付けされている注意ステッカーをはがして、車内の運転者から見える位置に貼り付けます。
3. 修理剤カートリッジから出ているホースを修理するタイヤのバルブに接続します。
4. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、カートリッジに接続します。
5. スイッチが **OFF** になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードを 12 V 電源ソケットに差し込みます。
6. エンジンを開始します。

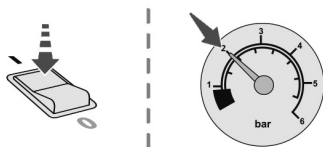
⚠ 警告

- 修理剤カートリッジに貼り付けされている注意ステッカーを車内の運転者から見える位置に必ず貼り付けてください。
- 修理剤カートリッジから出ているホースをつなぐ前に、電源を入れないでください。修理剤が噴き出すおそれがあります。

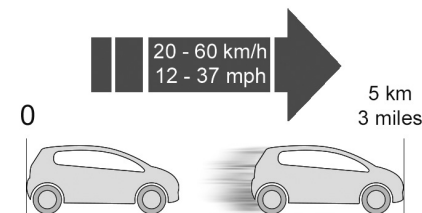
⚠ 注意

パンク修理剤には有効期限があります。定期的にシトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

7. スイッチを **ON** にして、空気圧を **2.0bars** まで昇圧します。



8. スイッチを **OFF** にしてから、パンク修理キットを取りはずし、直ちに走行してタイヤ内に修理剤を行き渡らせます。このとき、時速 **20 ~ 60km** で約 **5km** 走行します。



⚠ 警告

- パンク修理キットはコンプレッサーで圧力をかけて修理剤をタイヤに注入します。修理剤の注入中にホースをバルブから抜かないでください。ホースの口から修理剤が噴き出すおそれがあります。
- 修理剤が目や口に入らないように十分注意してください。
- パンク修理キットはお子さまには使用させないでください。

⚠ 注意

7 分以内に 2.0bars まで昇圧しないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。シトロエン指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。



パンク修理キットを取りはずすときは、修理剤が車に付着しないように気をつけてください。付着するとシミになるおそれがあります。

9. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、修理するタイヤのバルブに接続します。
10. スイッチが **OFF** になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードを 12 V 電源ソケットに差し込みます。
11. エンジンを始動します。
12. 空気圧が運転席側ドアピラー部に表示されている適正值になるように調整します。
 - ・昇圧：スイッチを **ON** にする。
 - ・減圧：黄色のボタンを押す。
13. 空気の漏れがないことを確認します。
14. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。
15. 時速 **80km** 以下で走行し、できるだけ早くシトロエン指定サービス工場でのタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠ 警告

- パンク修理キットで修理したタイヤで走行するときは、**時速 80km** 以下で走行してください。
- パンク修理キットで修理した後は、約 **80km** 以上走行しないでください。できるだけ早くシトロエン指定サービス工場でのタイヤの修理、交換を行ってください。

⚠ 注意

空気圧が適正值にならないときは、パンク修理キットを使用して修理できません。シトロエン指定サービス工場にお問い合わせいただくか、レッカーの手配をしてください。



- タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。
- 修理剤は一度しか使用できません。使用後は、新品の修理剤をシトロエン指定サービス工場でお買い求めください。
- 使用済みの修理剤カートリッジはシトロエン指定サービス工場までお持ちいただくか、地域条例に従って廃棄してください。

●タイヤの空気圧を点検する

コンプレッサーを使用してタイヤの空気圧を点検することができます。

1. コンプレッサーの裏からホースを引き出し、車両のタイヤのバルブに接続します。
2. スイッチが **OFF** になっていることを確認してから、コンプレッサーの電源コードを 12 V 電源ソケットに差し込みます。
3. エンジンを開始します。
4. 空気圧が運転席側ドアピラー一部に表示されている適正値になるように調整します。
 - ・昇圧：スイッチを **ON** にする。
 - ・減圧：黄色のボタンを押す。
5. コンプレッサーを取りはずし、パンク修理キットを元の位置に格納します。



タイヤの空気圧を調整したら、必ず間接式タイヤ空気圧警告システムのリセットをしてください。

○AdBlue[®]について

(C5 AIRCROSSのみ)

(第7章 7-20「緊急時にお客様がご自分でAdBlue[®]を補充する」)

●緊急時にお客様がご自分で AdBlue[®] を補充する

AdBlue[®] の残量がなくなり、エンジンが始動できなくなった場合の、エンジンの再始動を可能にするために必要な AdBlue[®] の量が変更されました。エンジンを始動するには、約 10.0 リットル以上の AdBlue[®] を補充してください。

- フュエルリッド（給油口）について
（C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRIDのみ）
（第2章 2-35「フュエルリッド（給油口）」）

フュエルリッド（給油口）

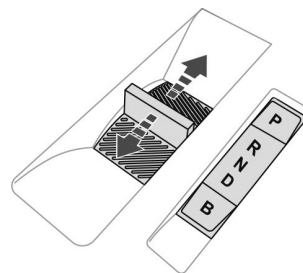


フュエルリッドを開けるときは、運転席ダッシュボードにあるスイッチを約 2 秒以上押してください。

- エフィシエント・オートマチック・トランスミッションについて
（C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRIDのみ）
（第3章 3-8「e-EAT8」）

エフィシエント・オートマチック・トランスミッション

- プッシュセクター／シフトポジション



プッシュセクターを前後に動かす、またはプッシュセクターの右側にあるスイッチを押してシフトポジションを選択します。選択されているシフトポジションは、インストルメントパネルおよびプッシュセクターの右側にあるインジケータに表示されます。**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにしてもしばらくの間、インジケータにシフトポジションが表示されます。

P. パーキング：前輪がロックされた状態になります。駐車するとき、またはハイブリッドシステムを始動するときに使用します。パーキングブレーキを併用してください。

- ・ **P** にシフトするときは、スイッチ **P** を押します。
- ・ ハイブリッドシステムを停止すると、シフトポジションが自動的に **P** になります。

R. リバース：後退します。

車が停止しているときにシフトしてください。

- ・ **P** から **R** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセクターを強く押します。
- ・ **N** から **R** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセクターを押します。
- ・ **D** から **R** にシフトするときは、プッシュセクターを強く押します。ブレーキペダルを踏んだ状態で操作してください。

N. ニュートラル：動力が伝わらない状態です。ハイブリッドシステムを始動するときに使用します。パーキングブレーキを併用してください。

- ・ **P** から **N** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセクターを押すか引きます。
- ・ **D** から **N** にシフトするときは、プッシュセクターを押します。
- ・ **R** から **N** にシフトするときは、プッシュセクターを引きます。

D. ドライブ：通常走行します。

- ・ **P** から **D** にシフトするときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセクターを強く引きます。
- ・ **N** から **D** にシフトするときは、プッシュセクターを引きます。時速 5km 以下のときは、ブレーキペダルを踏んだ状態で、プッシュセクターを引きます。
- ・ **R** から **D** にシフトするときは、プッシュセクターを強く引きます。ブレーキペダルを踏んだ状態で操作してください。

B. B モード：強い回生ブレーキが作動します。

- ・ **B** モードを作動させるにはスイッチ **B** を押します。
- ・ **B** モードを解除するには再度スイッチ **B** を押します。また、**ENGINE START/STOP** スイッチをオフにすると、**B** モードは解除されます。

警告

停止中または極定速（時速 5km 以下）で走行中に運転席ドアを開けると、シフトポジションが自動的に **P** になります。特に、極定速で走行中にシフトポジションが **P** になると、車が急停止して思わぬ事故につながるおそれがあります。また、トランスミッションなどを破損するおそれがあります。極定速で走行中に運転席ドアを開かないでください。



- プッシュセクターは操作後に手を放すと元の位置に戻ります。
- シフトポジションが **D** でガソリンエンジンが始動しているときは、走行に応じて自動的にギアが切り替わります。また、パドルスイッチを使って手動でギアを切り替えることができます。インストルメントパネルのシフトポジション表示には、選択されているギアが表示されます。電動モーターの動力のみで走行しているときは、ギア表示が消灯します。

● 回生ブレーキ

回生ブレーキは、ガソリン車のエンジンブレーキの代わりにモーターを使用して減速します。減速時に発電するため、発電した電力でリチウムイオンバッテリーを充電することができます。

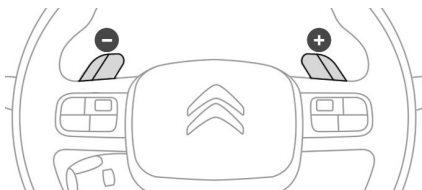
回生ブレーキは、次のときに作動します。

- ・ シフトポジションが **D**、またはシフトポジションが **D** で **B** モードが作動中、走行中にアクセルペダルをゆるめたとき
- ・ シフトポジションが **D**、またはシフトポジションが **D** で **B** モードが作動中、走行中にブレーキペダルを踏んだとき



- **B** モードが作動中は回生ブレーキの効きが強くなります。
- 満充電に近いときや外気温が低いときは回生ブレーキの性能が制限され、回生ブレーキの効きが弱くなることがあります。ブレーキペダルを踏んで減速してください。
- 回生ブレーキが作動しているときも、走行速度が速いときは、必要に応じてブレーキペダルを踏んで減速してください。
- アクセルペダルをゆるめることにより回生ブレーキが作動しても、ストップランプは点灯しません。
- 回生ブレーキによりリチウムイオンバッテリーに充電された電力は、リチウムイオンバッテリー残量計の表示に反映されません。

●パドルスイッチ



ステアリングの裏側にパドルスイッチがあります。シフトポジションが **D** でガソリンエンジンが始動している状態のとき、右側 (+) のスイッチでシフトアップ、左側 (-) のスイッチでシフトダウンします。



- パドルスイッチでのシフト操作は、エンジン回転と走行速度の許容範囲内でのみ行うことができます。また、パドルスイッチでのシフト操作後は、走行に応じて自動的にギアが切り替わります。
- パドルスイッチを使って、シフトポジションを **N** または **R** に切り替えることはできません。また、**R** から他のポジションに切り替えることもできません。

●クリープ現象

停車中にシフトポジションを **D** または **R** にすると、アクセルペダルを踏まなくても車がゆっくりと動き出します。

お子さまが乗車しているときは、ハイブリッドシステムが始動している状態のままでお子さまだけを残して車を離れないでください。

点検のためにハイブリッドシステムが始動している状態のままで車外に出るときは、パーキングブレーキをかけてシフトポジションを **P** にしてください。

●キックダウン

ガソリンエンジンが始動している状態で走行中、追い越しなどで急加速したいときは、アクセルペダルをいっぱい踏み込んでください。シフトダウンが起これ、エンジン回転が最高に達するまでそのギアを維持し、より短い時間で加速することができます。ある一定の速度に達すると、自動的にシフトアップします。安全のため、急にアクセルペダルを離してもシフトアップはしません。

●シフトロック

急発進防止のため、ブレーキペダルを踏んでいないと **P** から他のシフトポジションにすることはできません。



警告音とともにこのアイコンとメッセージが表示されたら、ブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを変更してください。

●シフトポジション N でハイブリッドシステムを停止する

シフトポジションが **N** の状態でハイブリッドシステムを停止するには、以下の操作を行います。この状態は 15 分間保持されます。15 分経過後はシフトポジションが自動的に **P** になります（または前輪がロックされます）。

1. 停車し、ハイブリッドシステムが始動している状態でブレーキペダルを踏みながらシフトポジションを **N** にします。
2. ブレーキペダルを踏んだまま **ENGINE START/STOP** スイッチを約 1 秒間押し続けます（ハイブリッドシステムが停止します）。
3. 約 5 秒以内に、ブレーキペダルを踏んだままプッシュセクターを 1 回押すか引きます。チャイムが鳴り、プッシュセクターの右側にあるインジケーターの **P** が点滅します。
4. ブレーキペダルを放します。
5. **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにします。
6. ブレーキペダルを踏みながらエレクトリックパーキングブレーキを解除します。
7. ブレーキペダルを放します。
8. **ENGINE START/STOP** スイッチをオフにします。

⚠ 警告

シフトポジションが **N** の状態でハイブリッドシステムを停止中は、車から離れないでください。



- 操作が正常に完了すると、チャイムが鳴り、プッシュセクターの右側にあるインジケーターの **P** が点滅します。また、シフトポジションが自動的に **P** になるまでの（または前輪がロックされるまでの）残り時間をお知らせするメッセージが表示され、1 分経過する毎にチャイムが鳴ります。
- ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにしたり、アクセサリポジションからオフにしたりしても、シフトポジションが **N** の状態とエレクトリックパーキングブレーキが解除された状態が保持されます。
- 15 分経過後はシフトポジションが自動的に **P** になりますが（または前輪がロックされますが）、エレクトリックパーキングブレーキは解除された状態のまま保持されます。手でエレクトリックパーキングブレーキをかけてください。
- ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにすると、またはアクセサリポジションからオフにするときはブレーキペダルを放した状態で操作してください。ブレーキペダルを踏んだまま操作するとハイブリッドシステムが始動するため、手順を最初からやり直してください。
- 次回ハイブリッドシステムを停止するときはシフトポジションが自動的に **P** になります。
- 車両がエコノミーモードに入ると、シフトポジションが自動的に **P** になります（または前輪がロックされます）。

●トランスミッションの異常



警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、システムはセーフモードに入り**3** (3 速) に固定されて走行します。

セーフモードではパドルスイッチを使ってシフトチェンジすることができなくなります。

シフトポジションを **R** にしたときに、大きなショックを伴うことがあります。トランスミッションを損傷することはありません。時速 100km 以下の速度で走行して、シトロエン指定サービス工場で点検を受けてください。

●プッシュセレクターの異常



警告音とともに **SERVICE** 警告灯が点灯し、メッセージが表示されたときは、プッシュセレクターに異常があります。このとき、インストルメントパネルにシフトポジションが表示されているのに、プッシュセレクターの横にあるインジケーターにシフトポジションが表示されなくなることがあります。

当社指定サービス工場で点検を受けてください。



また、STOP 警告灯が点灯するとともにメッセージが表示された場合は、重大な不良が発生しているおそれがあります。直ちに車を安全な場所に停止させ、ハイブリッドシステムを停止し、シトロエン指定サービス工場にご連絡ください。

⚠ 警告

- 走行中は、シフトポジションを **N** にしないでください。回生ブレーキが効かなくなり事故を起こすおそれがあります。
- 長い下り坂などブレーキを踏み続ける状態では、ブレーキペダルと回生ブレーキを併用してください。ブレーキペダルを踏み続けると、ブレーキが過熱して効きが悪くなり、思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 車から離れるときは、シフトポジションを **P** にして、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。クリーブ現象で車がひとりでに動いて、人や物に衝突するおそれがあります。
- ハイブリッドシステムが始動している状態のときは、お子さまを車内に残して車を離れないでください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
- ハイブリッドシステムを始動するときは、ブレーキペダルをしっかりと踏み、パーキングブレーキがかかっていることを確認してください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。
- シフトポジションを **R** や **D** にするときは、停止した状態で、ブレーキペダルをしっかりと踏みながら行ってください。急発進して人や物を傷付けるおそれがあります。

注 意

- 車が完全に停止する前にシフトポジションを **P**、**R**、**D** にしないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。
- アクセルペダルとブレーキペダルを同時に踏まないでください。トランスミッションを破損するおそれがあります。アクセルペダルおよびブレーキペダルは右足で踏んでください。

- プラグインハイブリッドシステムについて
(C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRIDのみ)
(第7章 7-13ページ「プラグインハイブリッドシステムの特徴」、7-14ページ「リチウムイオンバッテリー」、7-24ページ「リチウムイオンバッテリーの充電」)

プラグインハイブリッドシステムについては、次の内容も合わせてお読みください。

●プラグインハイブリッドシステムの特徴

警 告

- この車のプラグインハイブリッドシステムは高電圧システムを使用しています。高電圧システムの高電圧部品は損傷している場合でも、目視での損傷部位の確認ができないことがあります。次のことをお守りいただかないと、火災、感電、ケガ、やけどなど、重大な傷害におよぶか死亡につながるおそれがあります。
 - ・いかなる場合でも（目視で確認できる損傷の有無に関わらず）リチウムイオンバッテリー、オレンジ色の高電圧ケーブルとそのコネクター、その他のオレンジ色のマークのラベルが貼り付けられている高電圧部品には触らないでください。
 - ・指輪や時計などの金属物が高電圧部品に接触しないようにしてください。

⚠ 警告

- リチウムイオンバッテリー、オレンジ色の高電圧ケーブルとそのコネクタ、その他のオレンジ色のマークのラベルが貼り付けられている高電圧部品の点検や整備はお客様では行わず、必ずシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。
- オレンジ色の高電圧ケーブルを取りはずしたり、コネクタから引き抜かないでください。
- オレンジ色の高電圧ケーブルの分解、修理、改造は絶対に行わないでください。また、オレンジ色の高電圧ケーブルに傷を付けしないでください。
- リチウムイオンバッテリーのカバーを開けたり、分解、修理、改造は絶対に行わないでください。また、リチウムイオンバッテリーのカバーを取りはずさないでください。
- 高電圧部品に切削工具や総型工具を使用しないでください。
- 高電圧部品に火気や高熱源などを近づけないでください。
- 冷却水が少ないときは、お客様で補給は行わず、必ずシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。高電圧システムに関連する部品の点検や整備はお客様では行わず、必ずシトロエン指定サービス工場にお申し付けください。リチウムイオンバッテリーに冷却水が漏れ出ていないかなどの点検を行います。

⚠ 警告

- 事故などで車両やリチウムイオンバッテリーが損傷すると、事故の直後やしばらく経過したあとに有害なガスや液体の漏れが発生する場合があります。事故などで車両やリチウムイオンバッテリーが損傷したら、次のことをお守りください。
 - 消防に連絡するときは、プラグインハイブリッド車であること、リチウムイオンバッテリーを装備していることを伝えてください。
 - リチウムイオンバッテリーから液漏れが発生している場合は、漏れた液体に触らないでください。
 - リチウムイオンバッテリーからガス漏れが発生している場合は、漏れたガスを吸引しないでください。
 - 事故が発生したときは、直ちに車内の乗員を安全な場所に避難させ、車両から離れてください。漏れたガスに引火するおそれがあります。

● リチウムイオンバッテリー



- リチウムイオンバッテリーを長持ちさせるために、次のことを心がけてください。
 - 外気温が -30°C 以下、または $+60^{\circ}\text{C}$ 以上になる場所では車両を 24 時間以上放置しないでください。
 - 車両を 20 分以上走行させたあとの場合を除き、外気温が氷点下、または 30°C 以上になる場所での充電は避けてください。
 - リチウムイオンバッテリーを給電器として使用しないでください。
 - リチウムイオンバッテリーの充電に発電機は使用しないでください。

● リチウムイオンバッテリーの充電

注 意

- 外気温が氷点下の場合は、たとえ数時間であっても、リチウムイオンバッテリーのバッテリー残量が 20% 以下の状態で屋外に車両を駐車したままにしないでください。
- 長期間（4 週間以上）、車を使用しないで保管、駐車するときは、次のことを心がけてください。
 - 車両を駐車する前に、リチウムイオンバッテリーのバッテリー残量が 20% から 40% あることを確認してください。リチウムイオンバッテリーのバッテリー残量が低い状態、または極端に低い状態で長期間経過すると、特に外気温が氷点下になるような場所では、自然放電によりリチウムイオンバッテリーのバッテリー残量がなくなり、次回車両始動時にハイブリッドシステムが始動しないことがあります。
 - 充電コネクタは普通充電ポートからはずした状態にしておいてください。
 - 外気温が -10°C 以下、 $+30^{\circ}\text{C}$ 以上にならない場所に保管してください。外気温が極端に高い場所や低い場所で車両を保管すると、リチウムイオンバッテリーを損傷するおそれがあります。

- 充電中のエアコンの使用について
(C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRIDのみ)
(第7章 7-29ページ「コンセントを使用した3kW普通充電のしかた」、7-33ページ「充電器を使用した3kW／6kW普通充電のしかた」)

C5 AIRCROSS PLUG-IN HYBRID では、充電中にエアコンの冷暖房・除湿機能は作動しません。充電中、エアコンは送風機能のみ作動します。

誤：



●充電中は **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにしてエアコンやオーディオなどの電装品を使用できますが、充電時間が通常より長くなることがあります。

正：



●充電中は **ENGINE START/STOP** スイッチをアクセサリポジションにしてエアコンの送風機能やオーディオなどの電装品を使用できますが、充電時間が通常より長くなることがあります。